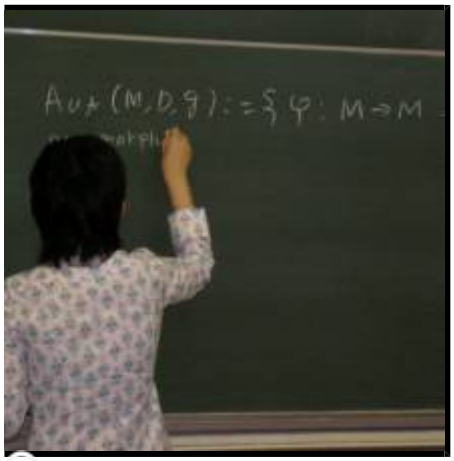
第11回

- 講演者： 北川 友美子（奈良女子大学）
  - 題目： On subriemannian contact manifolds
  - 日時： 平成17年 11月 9日(水) 17:30 〜 18:30

滑らかな多様体 M 上の接分布 D とその上のリーマン計量 g が与えられているとき， 組 \((M, D, g)\) を一般にサブリーマン多様体と呼びます． 特に， \((M,D)\) が接触多様体のとき \((M, D, g)\) をサブリーマン接触多様体といいます． これはサブリーマン多様体の中でも非自明でかつ最も典型的なものです．

二つのサブリーマン多様体の間に, 構造 \((D,g)\) を不変にするような微分同相写像 \(\phi\) が存在するとき， その二つは同型であるといいます． 特に二つのサブリーマン多様体 が同じものであるとき，このような \(\phi\) を自己同型写像と呼び， これら全体のなす群をサブリーマン多様体の自己同型群と呼びます．

リーマン多様体の自己同型群が有限次元のリー群をなすことは良く知られていますが, サブリーマン多様体の自己同型群については, これまでまだあまり研究されていません． 本講演では, サブリーマン接触多様体の自己同型群について考察し, 得られた結果を報告します．



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

4 images

From:
https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/ - **(旧)理工学部 数学科**

Permanent link:
https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2005/011

Last update: **2017/11/17 18:17**